

CASBEE[®]-建築(新築)

評価結果

■使用評価マニュアル: CASBEE-建築(新築)2014年版 | 使用評価ソフト: osk_CASBEE-BD_NC_2014(v.1.23)

1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	大阪府立環境農林水産総合研究所	階数	地上3F
建設地	大阪府羽曳野市尺度435番地 外45	構造	RC造
用途地域	市街化調整区域、法22条地域	平均居住人員	227 人
気候区分	5地域	年間使用時間	2,920 時間/年
建物用途	事務所,学校,	評価の段階	実施設計段階評価
竣工年	2017年3月 予定	評価の実施日	2015年3月16日
敷地面積	298,259 m ²	作成者	株式会社内藤建築事務所 東條和
建築面積	2,897 m ²	確認日	2015年3月16日
延床面積	5,319 m ²	確認者	株式会社内藤建築事務所 松井繁樹

本図を右クリックし、「図の複製」を選択していただくことで、外観図等を貼り付けることができます。

2-1 建築物の環境効率(BEEランク&チャート)

BEE = 2.7

S: ★★★★★ A: ★★★★★ B: ★★★★★ B+: ★★★★★ C: ★

環境品質 C (0 to 100) vs 環境負荷 L (0 to 100)

2-2 ライフサイクルCO₂(温暖化影響チャート)

標準計算

30%☆☆☆☆ 60%☆☆☆☆ 80%☆☆☆☆ 100%☆☆ 100%超:★

①参照値 100% (138 kg-CO₂/年・m²)

②建築物の取組み 71% (92 kg-CO₂/年・m²)

③上記+②以外の 71%

④上記+ 71%

このグラフは、LR3中の「地球温暖化への配慮」の内容を、一般的な建物(参照値)と比べたライフサイクルCO₂排出量の目安で示したものです

2-3 大項目の評価(レーダーチャート)

Q1 室内環境: 3.5

Q2 サービス性能: 3.5

Q3 室外環境(敷地内): 4.1

LR1 エネルギー: 4.5

LR2 資源・マテリアル: 3.6

LR3 敷地外環境: 3.6

2-4 中項目の評価(バーチャート)

Q 環境品質 Qのスコア = 3.7

Q1 室内環境 Q1のスコア = 3.5

Q2 サービス性能 Q2のスコア = 3.5

Q3 室外環境(敷地内) Q3のスコア = 4.1

LR 環境負荷低減性 LRのスコア = 3.9

LR1 エネルギー LR1のスコア = 4.5

LR2 資源・マテリアル LR2のスコア = 3.6

LR3 敷地外環境 LR3のスコア = 3.6

3 設計上の配慮事項

総合	その他
注) 設計における総合的なコンセプトを簡潔に記載してください。	注) 上記の6つのカテゴリ以外に、建設工事における廃棄物削減・リサイクル、歴史的建造物の保存など、建物自体の環境性能としてCASBEEで評価し難い環境配慮の取組みがあれば、ここに記載してください。
Q1 室内環境 注) 「Q1 室内環境」に対する配慮事項を簡潔に記載してください。	Q2 サービス性能 注) 「Q2 サービス性能」に対する配慮事項を簡潔に記載してください。
Q3 室外環境(敷地内) 注) 「Q3 室外環境(敷地内)」に対する配慮事項を簡潔に記載してください。	LR1 エネルギー 注) 「LR1 エネルギー」に対する配慮事項を簡潔に記載してください。
LR2 資源・マテリアル 注) 「LR2 資源・マテリアル」に対する配慮事項を簡潔に記載してください。	LR3 敷地外環境 注) 「LR3 敷地外環境」に対する配慮事項を簡潔に記載してください。

■CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)
 ■Q: Quality (建築物の環境品質)、L: Load (建築物の環境負荷)、LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性)、BEE: Built Environment Efficiency (建築物の環境効率)
 ■「ライフサイクルCO₂」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと
 ■評価対象のライフサイクルCO₂排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される

大阪府建築物環境配慮評価システム 2015年版

大阪府の重点評価(結果)

受付番号

H27-0044

Osakafu-新築・既存 2015V1.02

【建物概要】	建物名称	大阪府立環境農林水産総合研究所
	建設地	大阪府羽曳野市尺度435番地 外45筆
	用途/区分	事務所 学校

【評価結果】	CASBEE 総合評価		A
	CO2削減		4
	省エネ対策		4
	みどり・ヒート アイランド対策		4

再生可能エネルギー 利用施設の導入状況	太陽光発電	○	風力	—	地熱	—		
	太陽熱利用	—	水力	—	バイオマス	—		

エネルギー消費量の報告	報告しない
-------------	-------

【評価項目】

省エネルギー対策	① CO2削減			
	② 省エネ対策			
項目	評価内容	スコア	評価	
① CO2削減	CASBEE「LR3-1」のスコアによる評価	4.1	4	
② 省エネ 対策	外皮性能	CASBEE「Q1-2. 1. 2」 のスコアによる評価	5.0	4
	建物外皮の熱負荷抑制	CASBEE「LR1-1」のスコアによる評価	5.0	
	自然エネルギーの利用	CASBEE「LR1-2」のスコアによる評価	5.0	
	設備システムの高効率化	CASBEE「LR1-3」のスコアによる評価	4.9	
	効率的運用	CASBEE「LR1-4」のスコアによる評価	3.0	
	水資源保護	CASBEE「LR2-1」のスコアによる評価	3.4	
	エネルギー消費の実態把握に努める	エネルギー消費量の実績を3年間報告する。	報告する 報告しない	

みどり ヒートアイランド対策	③ みどり・ヒートアイランド対策		
項目	評価内容	スコア	評価
生物環境の保全と創出	CASBEE「Q3-1」のスコアによる評価	4.0	4
敷地内温熱環境の向上	CASBEE「Q3-3. 2」のスコアによる評価	5.0	
温熱環境悪化の改善	CASBEE「LR3-2. 2」のスコアによる評価	4.0	

その他

先進的技術の導入	技術の名称	考慮事項
特に配慮した事項		